

ニホンザル

(学名 : *Macaca fuscata*)
[オナガザル科 マカク属]



ニホンザルは日本では広く存在を知られ、南は鹿児島県の屋久島、北は青森県の下北半島まで分布し、幅広い環境、食性に対して適応していることがわかります。

体長は47~61センチ、体重は7~15キロですが、東北地方や中部地方山岳部の個体群はさらに大型です。

ニホンザルの食べ物は季節によって変化し、只見町のニホンザルは春にブナの新緑を食べ、夏には昆虫や夏野菜を食し、秋には枝豆やかぼちゃなど畑になる作物を食べ、冬には木の皮をかじって飢えをしのぎます。

海辺の地域では貝や海藻、山中では葉、芽、草、花、種子、キノコ、昆虫など。その食性は人間とそっくりなのです。

ブナセンター 講座

○「つる植物の生態」

講師 : 鈴木 和次郎 だだみ・ブナと川のミュージアム館長
日時 : 11月11日(日) 午後1時30分~午後3時

○「ツル細工の種類と伝統」

講師 : 谷川 栄子さん (日本女子大・櫻楓家庭工芸(研))
日時 : 12月1日(土) 午後1時30分~午後3時

○体験教室「カゴ編み教室」

講師 : 鈴木 和次郎 だだみ・ブナと川のミュージアム館長
日時 : 12月2日(日) 午前10時~正午

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

— 第6回市町村対抗軟式野球大会 只見町チーム 3回戦惜敗 —

大会初勝利から勢いに乗り2回戦も突破し、3回戦へ進んだ「只見町チーム」の相手は昨年の本大会覇者「福島市」でした。

息詰まる投手戦の末、結果は「0対3」で惜敗。悔しさが残る結果でしたが、同時に過去の試合で完敗した「福島市」に対して、ここまで善戦できたことは「只見町チーム」が大きく成長したということでもあり、すばらしいことです。

町内の有志24名の選手に、町外から故郷只見町のために駆け付けた3名のふるさと選手を加えた27名の「只見町チーム」が大活躍した大会でした。次の大会も今年の経験を糧に、町民の皆さんに感動と元気を与えてくれることでしょうか。参加された選手の皆さん本当にお疲れさまでした。



▲目黒町長に大会結果を報告する吉津健監督 (左から2人目)